第45号(通算385号) 令和5年1月1日

本

年

吉

冨

Ш

浄

覚

寺

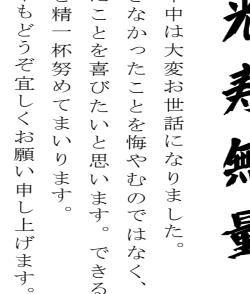
族

同

品を作ります。

また、

ことを精 できたことを で 旧 き 年 な 中 カゝ は 0 大 喜 変 び お لح 世 た を 話 VI لح 悔 に 思 な B り む いく ま ま \mathcal{O} L す で た。 は な で





備品などを確認さ

ていますから、

必要なものを購入しておき

も来てしまいました。住職んどコロナの荒波がお寺にんとコロナの荒波がお寺にて進んでおりましたが、な

も濃厚接触から陽性となり、

浄覚寺こども 会 #

経本とお念珠をプレゼント 万をイメージしながら試作 るようにレジメを作成しま 会冬のつどい」を開催する てくれる子供たちにはお 制作は指導の仕 初めて参加 判断をさせていただきましと思い、残念ながら中止の準備をすることは良くない ければなりません。けれど、が、その間も準備は進めなも終わっているはずでした かけいたしました。申し訳いていた方にはご迷惑をおだいた方や、ご協力いただ ます。 た。 ら、ウイルスを持ったままどんを予定していましたか 特に今年の制作 も会のことを悩みました。 心配だったのですが しども会当日には療養期 ばらく療養 参加の申し込みをい 普段の法務のことも が必要となり は手打ちう

ジュールなどが一

こ法話の内容を考え、

つもの通り

浄覚

唯 説 弥 陀 本 願 海

如 来 产 以 興 出 世

発行元 浄土真宗本願寺派 吉冨山 浄覚寺 大阪市平野区

第45号

(通算385号)

長吉長原3-1-10 06-6790-8350

净覚寺ヨガ教室

- •1月18日(水) 10時~11時半
- •参加費500円
- 浄覚寺本堂にて

☆ヨガマットは無料 貸し出しもあります ので、ぜひご参加お 待ちしております。

第45号(通算385号) 令和5年1月1日

位縁

仏

は

信

者を

御文章に聞く(第39回)

ひらがな版 を 読 む 』

『御文章

末代といれ ŧ がわって 御 文

生こ弥いけ まにら あ名めく のれ陀罪たろいしん末末 $\overline{}$ 決
慧
す
如
業
ま
を
ら
て 定願な来はえふせ · \$ のわは深とらて 阿が智智 してのうえればすくいま す重すくなりん一 5 さ陀は一。ら仏、 まと衆心にをこ家しも生一余ふこ止ま・を向のかろ住 あ 5 り八の 止第 \mathcal{O} ま すかばにかくをの通 べな 仏たたひ男 ねく念 しらたたへのと女 ず とす

仏

道

っていきたいと思いまたでいきたいと思いまた。 す。 お 仏生な



積雪うそ私をな願た親 雪地構救た同ど海ち鸞 が帯造済ちじ。(食家) し界欲え

海が

『気になる仏教語辞典』 著 · 麻田弘潤 誠文堂新光社

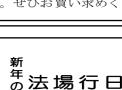
仏教にまつわる用語をイラストと わかりやすい言葉で読み解かれてい ます。ぜひお買い求めください。

移を絶ち切、 ・ 親子、 このような「出家」に対して「在 をまもり、 の完成 社会は を受 家庭に在る者と は別性として り、 をめざす者のことで いう す。 のつながり 夫婦 さまざまな行 夫婦などの 種々の 世財 経済的に たとえ一 家 道 俗 をはじ 兄弟と \mathcal{O} いう意味で とは 人間 間 $\hat{\mathcal{O}}$ 人の をす め社 いう肉は 中に生きる もさまざ 性 を 精 出 関係や、 は 修 進 世 生活 女性 す。 会的 間 7 親 \mathcal{O} ま で 戒捨地の を

編集後記

でありま ✔ 豪雪の中での生活は大変な苦労をともない時に命を奪われることも コロナ感染によりこども会を中止させて o (中力粉)

に見ると大きな障害となるものが、 かし春になるとその雪は水となり、 、多面的に見ると逆にいのちを育むものに しばらくうどんが続くこ 多くのいのちが育まれていく。 う有難う



ご挨拶をさせていただきます。

ぜひお参りなさってください。

月の月参りは六日から伺います)

話所事時

会

令

士四

新長元 發原旦

發田恵司 经原 净覚寺

和 五 年 月

恩講法要で依用しますので練習させていただきましょう。 ために新たに制定されました。令和五年四月、当山の

鸞聖人御誕生八百五十年· 立教開宗八百年慶讚法要

御本典作法』

講日

(一マ・『新制に開師・当山 住職に三月十二)

日(日)

-四時より

住職